

資料・ データ

「資料・データ」では、富士フイルムグループの活動を客観的かつ具体的にご理解いただけるように、CSR活動の基礎的な情報や人事・労務関連、環境側面などの定量情報を中心に掲載しています。

コンプライアンス・リスクマネジメントに関する情報	60
お客様／取引先に関する情報	61
人事・労務に関する情報(富士フイルム)	62
人事・労務に関する情報(富士ゼロックス)	63
環境側面に関する情報	64
重点実施事項	64
地球温暖化対策	64
省エネルギー対策	65
物流における環境配慮	65
省資源対策	66
化学物質排出量削減	67
汚染防止対策	67
法規制への対応	67
サステナビリティ会計(労働環境・社会会計、環境会計)	68
社外からの評価	70

コンプライアンス・リスクマネジメントに関する情報

コンプライアンス

■コンプライアンス教育の実施内容(富士フィルム[国内])

対象	教育内容	2011年度実績
経営層(富士フィルム)	コンプライアンス全般(外部講師による)	なし(適宜実施)
関係会社の役員	コンプライアンス全般(外部講師による)	1回、参加者80名
役職者(富士フィルム・関係会社)	経営倫理、顧客志向、コミュニケーションなど(CP&RM*による)	10回、参加者200名
	企業不祥事、懲戒事例、相談窓口、リスク報告の仕組みなど(CP&RM*による)	60回、参加者2,700名
新任役職者(富士フィルム)	コンプライアンス全般(CSR推進管掌執行役員による)	1回、参加者90名
全従業員 (富士フィルム・関係会社、派遣社員も含む)	コンプライアンス事例を用いた職場でのディスカッション(役職者による)	全部門
新入社員(富士フィルム)	コンプライアンスの基礎知識、社員行動規範、社内規程、相談窓口など(CP&RM*による)	1回、参加者150名

*CP&RM:富士フィルムコンプライアンス&リスク管理部

■コンプライアンス教育の実施内容(富士ゼロックス[国内])

研修名	対象(富士ゼロックスと国内関係会社)					教育内容	2011年度実績
	役員	管理職	一般職	契約社員	他従業員		
ALL-FX行動規範教育			○			各行動規範について具体的なケースを用いて解説する集合教育	1回、参加者481名 この他富士ゼロックス単体ではキャリア採用者に対して12回、計110名が参加
新任役員研修	○					経営層に必要な会社法と総務リスク、人事リスク等の必要なリスクマネジメント全般に関する集合教育	1回、参加者28名
新任管理者研修		○				労務管理上のコンプライアンス(労働環境とコンプライアンス、企業不祥事、職場における規律違反などに関するコンプライアンス)の集合教育	4回、参加者296名
法令基礎教育WBT	○	○	○			WEBを用いた基礎的な法律知識の教育	1回、参加者約23,000名
情報セキュリティ教育WBT	○	○	○	○	○	WEBを用いた情報セキュリティに関する基礎教育	1回、参加者約30,000名

リスクマネジメント

■プライバシーマークとISMSの取得状況

種類	取得済みの関係会社	種類	取得済みの関係会社
Pマーク*1	富士フィルムメディカル 富士フィルムイメージングシステムズ 富士フィルムテクノサービス 富士ゼロックスシステムサービス 富士ゼロックス総合教育研究所	ISMS*2	富士フィルムグラフィックシステムズ 富士フィルムソフトウェア 富士ゼロックス(グローバルサービス営業本部) 富士ゼロックス国内営業及び国内販売会社 富士ゼロックスインターフィールド 富士ゼロックスシステムサービス 富士ゼロックス情報システム 富士ゼロックス県別特約店11社(12事業所) 富士ゼロックス上海 富士ゼロックスコリア 富士ゼロックス深圳

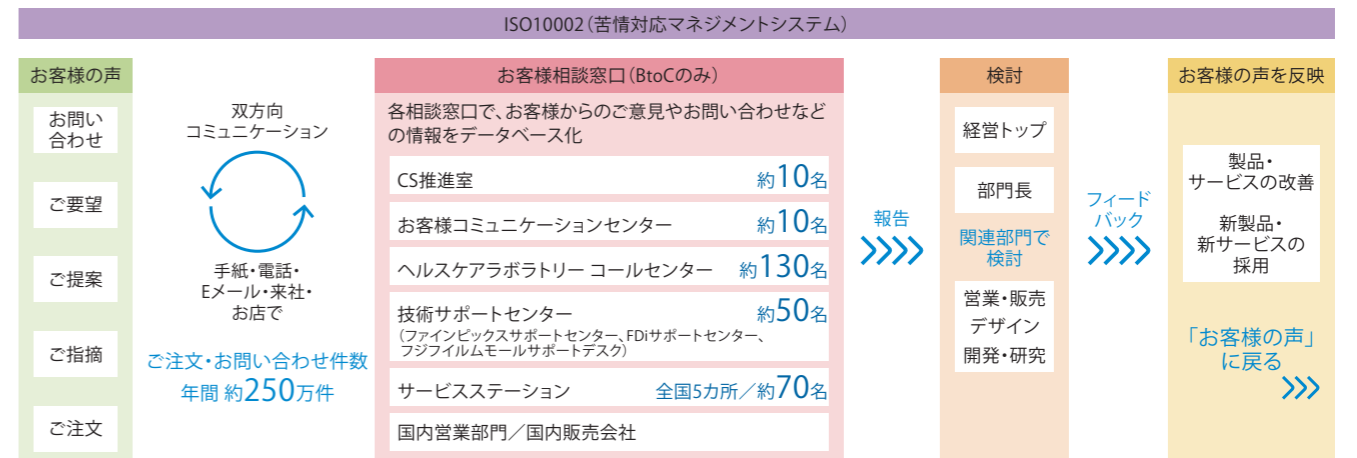
*1 プライバシーマーク:日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)より、個人情報について適切な取り扱いが行われている企業に与えられるマーク。

*2 ISMS:情報セキュリティマネジメントシステム。個人情報ははじめとする情報全般の管理体制に関する認証。

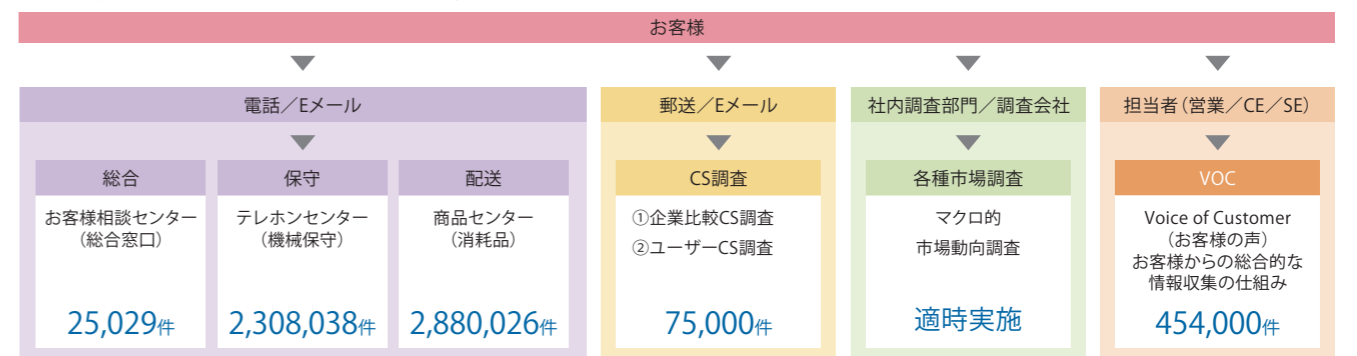
お客様／取引先に関する情報

お客様

■お客様対応の仕組み(富士フィルムと国内関係会社)



■お客様対応の仕組み(富士ゼロックスと関係会社)



取引先

■富士フィルムグループ「調達方針」

本方針における「調達」は、製品に使用する部品・材料の調達のみならず、間接材の調達や設備などの保守・管理サービスなども含めた各種取引を対象とします。

I. 調達の基本的な考え方

富士フィルムグループは、国際社会の一員として、最高品質の商品やサービスを提供することにより、社会の発展に貢献し、人々のクオリティ オブ ライフのさらなる向上に寄与したいと考えています。そのために、私たちは次のような基本的考え方によって調達を行います。

1. 合理的な選択基準

優れた物品・サービスを最も競争力のある供給者から調達するため、品質・価格・安定供給・企業の信頼性などの合理的かつ明確な基準に基づいてお取引先を選定します。調達取引に係る決定は、調達部門が他部門から独立して行います。

2. 開放・公正

調達取引の機会を国内外のすべてのお取引先に平等に開放し、実績のあるお取引先だけでなく、新規お取引先からの調達も積極的に検討します。

3. 社会的責任(CSR)

コンプライアンス、品質・安全性、環境保全、情報セキュリティ、公正取引・倫理、安全衛生、人権・労働などCSRに配慮し、社会に貢献する良き市民としての役割を積極的に果たしていきます。

お取引先にも以上のような私たちの考え方をご理解いただき、次の「調達ガイドライン」に示す取り組みを進めていただくことで、お互いの良きパートナーシップと相互信頼の樹立・維持向上を図っていきます。

II. 調達ガイドライン

富士フィルムグループは、調達に関する全てのお取引先に、以下の10原則に基づいた取組みを求めます。

- 社会的に有用な製品・サービスを、安全性や個人情報・顧客情報の保護に十分配慮して開発、提供し、消費者・顧客の満足と信頼を獲得する。
- 公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行う。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を保つ。
- 広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的かつ公正に開示する。
- 従業員の多様性、人格、個性を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保する。
- 環境への取組みは企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、自主的、積極的に行動する。
- 「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行う。
- 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体との関係を排除する。
- 国際的な事業活動においては、国際ルールや現地の法律の遵守はもとより、現地の文化や慣習を尊重し、その発展に貢献する経営を行う。
- 経営トップは、本原則の精神の実現が自らの役割であることを認識し、率先垂範の上、社内に徹底するとともに、グループ企業やお取引先への周知を行う。また、社内外の声を常時把握し、実効ある社内体制の整備を行うとともに、企業倫理の徹底を図る。
- 本原則に反するような事態が発生したときには、経営トップ自らが問題解決にあたる姿勢を内外に明らかにし、原因究明、再発防止に努める。また、社会への迅速かつ確かな情報の公開と説明責任を遂行し、権限と責任を明確にした上、自らを含めて厳正な処分を行う。

※環境パフォーマンスデータの対象組織は、原則的に連結財務諸表の範囲で、環境負荷の大きさを基準に設定しています。ただし、一部の販売及び生産(組み立て)子会社は含まれていません。特に表記のないものは、上記の集計範囲で行っています。なお、「グループ合計」の値は、それを構成する各小計の合算値と必ずしも一致していない場合があります。

省資源対策

■ゼロエミッション

富士フィルムでは2003年度にゼロエミッションを達成し、引き続き廃棄物管理レベルの向上に努めています。今後の課題は、富士フィルムの海外生産拠点である関係会社及び新しく富士フィルムグループに加わった会社でのゼロエミッション達成です。課題達成のために次の関係会社を中心に指導を続けていきます。

- 1. プラントの立ち上げや廃止で発生する廃棄物ゼロエミッション化されていない国内外の関係会社
2. 廃棄物発生量が多い国内外の関係会社
3. 生産量が増加しているゼロエミッション率が未だに低い国内外の関係会社

なお、富士フィルムと富士ゼロックスにおけるゼロエミッションの定義は事業特性の違いから若干異なりますが、概ね「事業活動で発生するすべての廃棄物を再資源化し、廃棄物の単純焼却、単純埋立をゼロにすること」と定義しています。

■廃棄物発生量、再資源化量及び最終処分量の推移

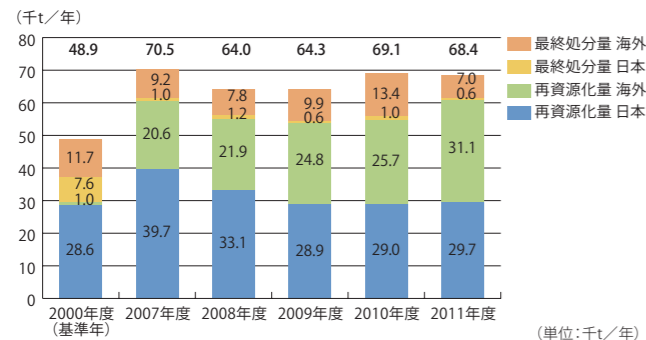


Table with 7 columns (Year) and 4 rows (Generation, Recycling, Final Disposal) for Domestic and Overseas.

*1 外部委託量
*2 単純焼却または単純埋立てした量

■廃棄物の主なリサイクル方法

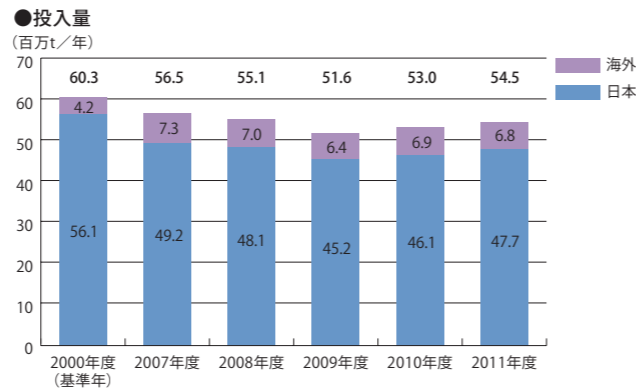
Table mapping waste types (e.g., plastic, magnetic tape, organic solvents) to recycling methods (e.g., pallets, high-temperature materials).

■有価物量*の推移

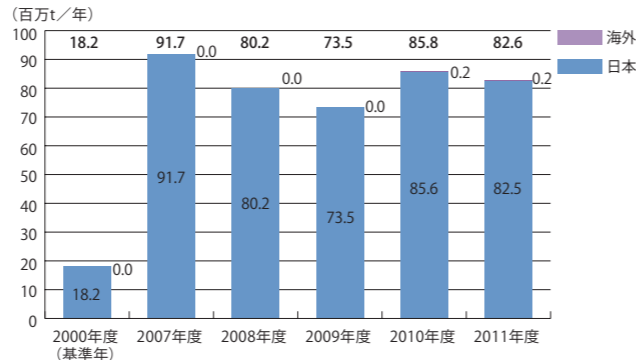
Table showing the trend of valuable quantities from 2000 to 2011, including Japan and Overseas.

*有価物とは、生産により生じた副産物のうち、有償で販売したものと定義。

■水の投入量、リサイクル量及び排水量の推移



●リサイクル量*1



●排水量*2

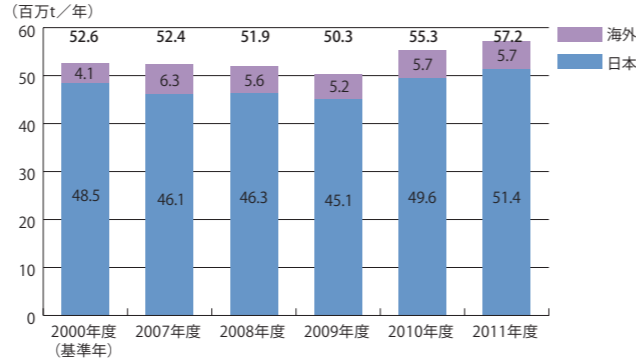


Table showing water input, recycling, and discharge trends from 2000 to 2011.

*1 冷却水の使用も含める
*2 事業活動で使用した水、雨水、その他含む

化学物質排出量削減

■PRTR法への対応(富士フィルム及び国内関係会社)

PRTR法(化学物質管理促進法)で届出対象になっている物質以外に、日本化学工業協会が定めた自主管理物質を中心に、富士フィルムが自主的に管理対象とする物質を加え、排出量削減に取り組んでいます。

URL http://www.fujifilm.co.jp/corporate/environment/preservation/site/atmosphere/prtr.html

■揮発性有機化合物(VOC)の大気排出量の推移

Table showing the trend of VOC atmospheric emissions from 2000 to 2011.

※2007年度は富士化学工業なしで集計

汚染防止対策

■大気汚染物質排出量の推移

Table showing trends in SOx, NOx, and other atmospheric pollutant emissions from 2007 to 2011.

*グループ合計

■水質汚濁物質・排出量*1の推移

Table showing trends in water quality pollutant discharge from 2007 to 2011.

*1 公共水域に排出した量
*2 COD(化学的酸素要求量):水の汚れを示す指標。水中の汚れ(主に有機性汚濁物質)が、酸化によって酸化されるときに消費される酸素の量を指す
*3 BOD(生物学的酸素要求量):水の汚れの程度を表す尺度の一つで、汚れを分解する微生物がどのくらい水中の酸素を使ったかを指し、酸素の減った量で表す

■土壌・地下水汚染の調査と浄化

(富士フィルム及び国内関係会社と富士ゼロックス及び国内関係会社)
土壌・地下水汚染に関して自主的な環境調査を実施しています。生産事業所で使用され、環境基準値が定められている物質については、使用・在庫管理及び排水管理、地下水の定期的なモニタリングを実施し、不測の事態に迅速な対応がとれる管理を行っています。

URL http://www.fujifilm.co.jp/corporate/environment/preservation/site/leakage/

URL http://www.fujixerox.co.jp/company/public/sr2011/stakeholder/environment/target.html

■PCBを含む*機器などの保管・管理状況

Table showing the status of PCB-containing equipment storage and management, including quantity and location.

*微量PCBは含まず

■削減に取り組んだVOCと大気排出量の削減量*(富士フィルム単独)

Table showing VOC and atmospheric emission reduction amounts for Fujifilm alone.

*2000年度実績に対する2011年度までの削減量

法規制への対応

■2011年度の環境関連の法規制に対する順守状況とクレーム

2011年度の環境関連の法令違反は10件、クレームは4件で、海外の1件を除き直ちに対策を講じています。従来以上に管理を徹底し再発防止に努めます。

Table summarizing environmental law violations and complaints for 2011.

■2011年度の環境関連の法令違反・クレーム内容とその対応*

Table detailing environmental law violations and complaint contents and responses.

*比較的に軽微なものを除く

サステナビリティ会計(労働環境・社会会計、環境会計)

労働環境・社会会計

2011年度の概要

- 労働環境の整備や社会貢献に要した費用をステークホルダー別に分類集計したものです。
- 従業員に対しては、労働安全衛生の確保や、社員教育をはじめとした人材育成などに力を注いでいます。
- コミュニティに対しては、東日本大震災で建設された仮設住宅向け空間清浄機の寄付や、マスク寄付などの費用が含まれています。また「社会への文化芸術振興」として、写真文化の保存と発信基地としてのフジフィルム スクエアやフォトコンテストの費用も含まれています。
- ボランティア時間については、富士フィルムの写真洗浄プロジェクト活動、富士ゼロックスの震災復興支援のボランティアツアーなどにより、対前年比で大幅増加しました。

＜対象期間＞

2011年度(2011年4月1日～2012年3月31日)

＜集計範囲＞

富士フィルムグループ国内69社(富士フィルムホールディングス、富士フィルム、富士フィルムの関係会社19社、富士ゼロックス、富士ゼロックスの関係会社46社、富山化学工業)

＜基本事項＞

●労働環境・社会会計の目的

従業員の労働環境の整備及び社会貢献に費やした金額を集計し、富士フィルムグループとしてこれらの分野の取り組み状況を把握します。

●集計方法

当該年度の支出(投資も含む)を集計しました。投資設備に関する減価償却費は含まれません。なお、従業員への教育や社会貢献などは、一部環境会計と重複する数字も含まれます。

環境会計

2011年度の概要

●環境保全コスト

[設備投資]

対前年比で5億円・10%の増加となりました。寄与が大きかったのは、フラットパネルディスプレイ製造設備の省エネや地球環境保全に関する投資でした。

[費用]

対前年同等の金額となりました。

●環境保全効果

社内・社外への経済効果ともに、対前年比で増加となりました。

[社内への経済効果]

対前年比で43億円・24%の増加となりました。生産工程の省エネやオフィスにおける夏季電力の省エネなどが寄与しました。

[社外への経済効果]

お客様への効果の増加により、対前年比で321億円・47%の大幅増加となりました。

＜対象期間＞

2011年度(2011年4月1日～2012年3月31日)

＜環境会計集計範囲＞

富士フィルムグループ国内64社(富士フィルムホールディングス、富士フィルム、富士フィルムの関係会社19社、富士ゼロックス、富士ゼロックスの関係会社41社、富山化学工業)

＜基本事項＞

●環境会計の目的

- ①社内外の関係者に、物量面、経済面の定量化された正しい環境情報を提供すること。
- ②経営者層及び事業場統括者の意思決定に役立つ、数値化された環境情報を提供すること。

●集計方法

参考にしたガイドライン:環境省発行「環境会計ガイドライン(2005年版)」

- ①減価償却費は、3年間の定額償却によって算出しています。
- ②環境保全以外の目的が含まれているコストは、支出目的による按分計算により集計しています。
- ③社内への経済効果:汚染賦課金、エネルギー、原材料、水などは前年度との差額、回収、リサイクルなどは当該年度の実質的効果金額を計上しています。
- ④社外への経済効果:SOx、VOC、CO₂については前年度との差額、リサイクルについては、当該年度の推定的効果金額を計上しています。

(単位:百万円)

製品	金額	
	2010年度	2011年度
1.高密度磁気記録材料	-1,178	8,392
2.製版フィルム不使用のPS版	23,651	39,468
3.液晶ディスプレイ用フィルム	23,136	21,694
4.オフィスプリンター	11,310	19,649
合計	56,919	89,203

労働環境・社会会計

労働環境・社会会計の内訳

(単位:百万円)

ステークホルダー	目的	コスト合計	
		2010年度	2011年度
従業員	労働安全衛生	1,197	1,523
	人材育成	2,449	3,346
	多様性の確保	339	528
	働きやすい職場づくり	1,381	1,219
お客様	お客様対応・安全確保	459	501
将来世代	将来世代への教育活動	1	0
コミュニティ(地域社会・行政)	地域社会との調和	78	189
	社会への文化芸術振興(国内)	963	727
国際社会	国際社会の文化・社会への配慮	29	50
NGO・NPO	NGO・NPOとの協働	33	25
調達先	製品への配慮	67	57
合計		6,996	8,166

就業時間内のボランティア

	2010年度	2011年度
ボランティア時間	1,372時間	10,175時間
ボランティア費用	4百万円	41百万円

※ボランティア活動について
従業員が就業時間内に行った地域の清掃などのボランティア活動の時間とそれに相当する賃金及びその活動にかけた経費を集計。

環境会計

2011年度の環境会計

(単位:百万円)

	環境保全コスト				環境保全効果					
	設備投資		費用		社内への経済効果			社外への経済効果		
	2010年度	2011年度	2010年度	2011年度		2010年度	2011年度		2010年度	2011年度
1.事業エリア内コスト	3,502	3,585	9,572	8,086						
①公害防止	2,201	415	4,919	2,739	汚染賦課金の削減	-4	6	SOx排出削減 ^{*1} SOx排出削減量	0.005 28t	0.000 -4t
								NOx排出削減量	9t	-25t
								VOC排出削減 ^{*2} VOC排出削減量	-70 -25t	9 25t
②地球環境保全	943	2,773	2,211	2,737	省エネルギー	-1,443	1,893	CO ₂ 排出削減 ^{*3} CO ₂ 排出削減量	-75 -38千t	51 58千t
③資源循環	358	397	2,442	2,611	原材料削減	10,935	11,808	リユース・リサイクルによる産業廃棄物削減 ^{*4} 削減量 ^{*6}	11,092	10,742
					水資源削減 ^{*5} 回収・リサイクル	-808	-618			
					銀	1,668	1,593			
					高分子材料	875	881			
					アルミ材料 その他	228 267	144 383	アルミ原材料の再利用CO ₂ 排出削減量	80 4万t	34 4万t
2.上・下流コスト 市場からの回収	26	9	7,660	7,386	下取り機器からの部品回収	5,991	5,869			
3.管理活動コスト	76	43	8,143	9,820						
4.研究開発コスト	931	1,374	20,005	18,945				お客様への効果の詳細はP68の表に記載しました。	56,919	89,203
5.社会活動コスト	0	0	297	109						
6.環境損傷対応コスト 汚染賦課金	11	9	211	204						
合計	4,545	5,020	45,889	44,551		17,709	21,959		67,946	100,038

*1 SOx排出削減:45円/t
米国環境省の2012年3月のSOx排出権オークションの落札価格 0.56ドル/t

*2 VOC排出削減:350千円/t
(社)産業環境管理協会「有害大気汚染物質対策の経済性評価報告書」平成16年2月

*3 CO₂排出削減:882円/t
(2012年3月 EU排出権2012年先物取引価格 8.14ユーロ/t)

*4 廃棄物埋め立て処理コスト:100円/kg

*5 上水200円/t、下水200円/t

*6 廃棄物発生量のうち再資源化量及び有価物量

社外からの評価

■格付け・SRI調査の状況

富士フィルムホールディングスは、「持続可能な発展」に向けたCSR活動を積極的に推進している企業グループとして、外部機関より以下の評価を受け、社会的責任投資 (SRI) の銘柄に組み入れられています。また、社外の格付け調査において、右表の評価を受けています。

評価名	富士フィルムホールディングスの評価
第6回CSR企業ランキング (2012年 東洋経済新報社)	1位/1,117社 (554.2点)
第15回「企業の環境経営度調査」 (日本経済新聞社)	9位/製造業449社
環境ブランド調査2011 「CSR評価ランキング」 (日経BP社)	62位/560社 (偏差値61.8)
サステナビリティ評価2012 (SAM社 Sustainable Asset Management)	SAM ブロンズ・クラス



Dow Jones Sustainability Indexes 2011への組み入れ



FTSE4Good

FTSE 4Good Global Indexへの組み入れ



モーニングスター社会的責任投資株価指数への組み入れ (2012年6月末日現在)

■2011年度の主な受賞や評価

関連ページ P.37、39、48、49、52、55、58

対象	賞の名称や評価内容	授与団体
富士フィルム (株)	アカデミー科学技術賞“Scientific and Engineering Award”を受賞	映画芸術科学アカデミー
富士フィルム (株)	富士フィルムのグローバルサイトが、「企業グローバルサイト・ユーザビリティ調査2011/2012」第2位	日経BPコンサルティング
富士フィルム (株)	デジタルカメラ「FinePix X100」や乳がん検査用デジタルX線撮影装置「AMULET」など主要10製品が「グッドデザイン賞」を受賞	日本デザイン振興会
富士フィルム (株)	遠隔画像診断治療補助システム「i-Stroke」が日経優秀製品・サービス賞2011「優秀賞」を受賞	日経産業新聞
富士フィルムRIファーマ(株)	セーフティドライバーズちば2011「優秀事業所賞」受賞	千葉県安全運転管理協会
富士フィルム九州 (株)	「熊本労働局安全衛生表彰 熊本労働局長賞奨励賞 (健康保持増進部門)」を受賞	熊本労働局
富士フィルム (株) 富士宮工場	「産業廃棄物適正処理推進功労者知事褒章」を受賞	静岡県
富山化学工業 (株) 富山事業所	環境安全部 島田 正俊が、「富山市危険物安全協会長」表彰を受賞	富山市危険物安全協会
FUJIFILM Electronic Materials U.S.A., Inc. (Rhode Island) FUJIFILM Electronic Materials (Europe) N.V.	Preferred Quality Supplier Award	Intel Corporation
FUJIFILM Electronic Materials U.S.A., Inc. (Rhode Island) FUJIFILM North America Corporation FUJIFILM Hunt Chemicals U.S.A., Inc. FUJIFILM Imaging Colorants Inc. FUJIFILM Holdings America Corporation FUJIFILM Manufacturing U.S.A., Inc. FUJIFILM Canada Inc.	2011 Safety Award-20 facilities from the noted divisions received the 2011 Safety Awards including 3 "Best in Class" Awards.	International Imaging Industry Association
FUJIFILM Manufacturing U.S.A., Inc./ Env. & Reg. Compliance	Best JAKES Event for 76-150 (participants) both National and State award awarded to Fujifilm and the Neil Cost Chapter headquartered in Greenwood.	National Wildlife Turkey Federation (NWTFF)
FUJIFILM Speciality Ink Systems Limited	Britain's Best Process Plant	Cranfield University School of Management
FUJIFILM Imaging Colorants Limited	Gold Medal for Occupational Health & Safety	The Royal Society for the Prevention of Accidents (RoSPA)
FUJIFILM France SAS	Imprim'Vert Certificate ("Green printing certification")	P2i: pole d'innovation de l'imprimerie.
富士膠片印版有限公司	The 2010 annual pollution reduction top 10 enterprise	Hebei province Sanhe government environmental protection work of the leading group
FUJIFILM Hunt Chemicals Singapore Pte. Ltd.	Singapore Chemical Industry Council Responsible Care Awards 2011	Singapore Chemical Industry Council (SCIC)
富士ゼロックス (株)	第21回地球環境大賞で「フジサンケイグループ賞」を受賞	フジサンケイグループ
富士ゼロックス (株)	「サステナビリティレポート 2011」が、「第15回環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞」のサステナビリティ報告書賞「最優秀賞」を受賞	東洋経済新報社・グリーンリポートニングフォーラム
富士ゼロックス (株) 海老名事業所	長年の優良廃棄物排出事業所としての功績が認められ「表彰状」が授与	神奈川県廃棄物対策協議会
富士ゼロックスマニファクチュアリング (株) 鈴鹿事業所	科学技術分野の文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞を2名が受賞	文部科学省
富士ゼロックスアドバンステクノロジー (株) / 富士ゼロックスマニファクチュアリング (株)	100%再生プラスチック製ドラムカートリッジ用キャリアケースが「2011日本パッケージングコンテスト 電気・機器包装部門賞」受賞	日本包装技術協会
富士ゼロックスチャイナ	2011中国情報産業グリーン発展貢献優秀企業賞を受賞 2011中国CSRアワード・企業賞を受賞	Information World
富士ゼロックスシンガポール	第9回HRM Awards 2012で「最優秀環境活動賞」を受賞	Human Resource Magazine (HRM) Asia